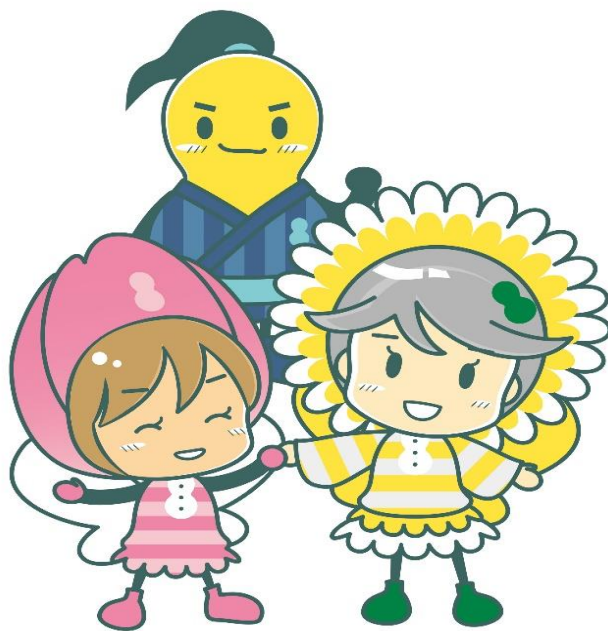


北島町民アンケート

調査票集計 最終報告

《2021年1月 クロス集計》



北 島 町 議 会

目次

1 調査概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の方法	3
(3) 集計に際しての留意事項.....	3
2 調査結果・基本属性	4
調査票回収状況	4
質問1. 回答者の性別.....	5
質問2. 回答者の年齢層	5
3 調査結果・北島町議会について	7
質問3. 議会への関心度	7
質問4. 議会傍聴の有無	10
質問5. 議会広報メディアとの接触	12
質問6. 議会は町民の声を反映しているか	15
質問7. 声を反映していないと思う理由.....	18
質問8. 議会・議員に期待するもの	21
4 調査結果・新型コロナウイルス感染症対策等について	23
質問9. 感染症対策の情報提供は十分であったか.....	23
質問10. 情報提供が十分でなかった理由	25
質問11. 収入や支出について.....	27
質問12. 世帯収入増加・減少の理由についての自由記述.....	29
質問13. 生活支出が増えた項目	30
質問14. 新型コロナウイルス感染での影響	32
質問15. 地方創生臨時交付金事業の効果はあったか	34
質問16. 避難場所等を家族間で共有しているか.....	36
5 調査結果・議会に対するご意見・ご要望について	38
質問17. ご意見・ご要望の自由記述.....	38
6 調査を終えて ― 総括	39

1 調査概要

(1) 調査の目的

北島町議会は、町民に信頼される議会活動を目指し、常日頃から北島町議会北島町民会議（一般会議・中学生議会）の開催や、議会モニター・議会広報モニターの議会参加等を通して、町民の現状を把握し、多様なニーズを魅力ある町づくりに反映させられるよう努めております。

しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、3密を避けるため、議会改革及びコロナ対策等への課題・評価についての意識調査をアンケート形式で実施しました。

(2) 調査の方法

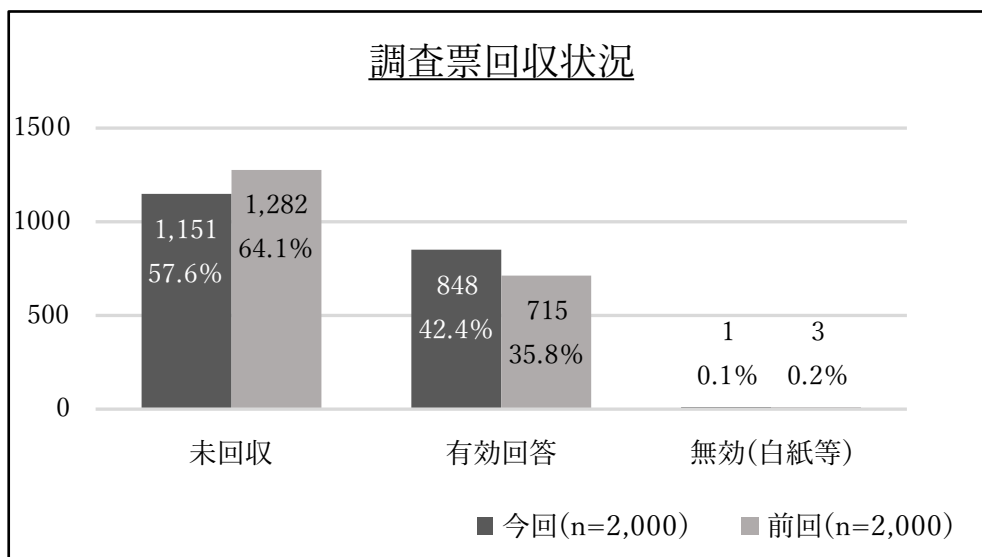
①調査対象者	住民基本台帳より無作為に抽出した北島町民
②調査票配布数	2,000件
③調査票配布日	令和2(2020)年11月1日(日)
④調査票回収日	令和2(2020)年11月5日(木)～20日(金)

(3) 集計に際しての留意事項

- ◎基本属性(性別・年代)が未記入なものは、無効としました。
- ◎1つを選択の質問で複数選択の場合、初出の選択(記号の若いもの)を採用しました。
- ◎欄外等、質問17以外のスペースへの記述も、自由記述として反映しました。
- ◎割合は選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、その割合の合計が100%にならないことがあります。
- ◎「年齢別」の横棒グラフ内の数値は、その項目に対する回答数を表しています。
- ◎単純集計(速報値)から、更新されたデータとなります。

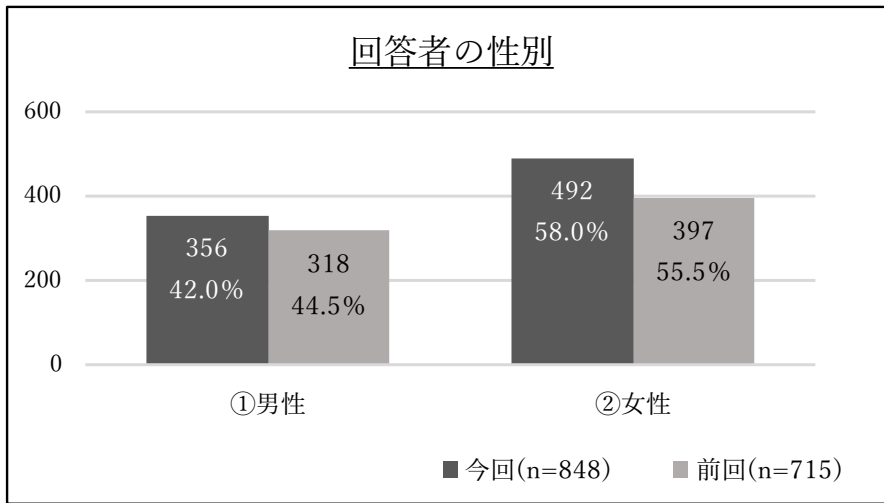
2 調査結果・基本属性

調査票回収状況と、質問1～8、質問17については、前回実施したアンケートのデータと比較して掲載しております。(前回実施:平成30年5月)



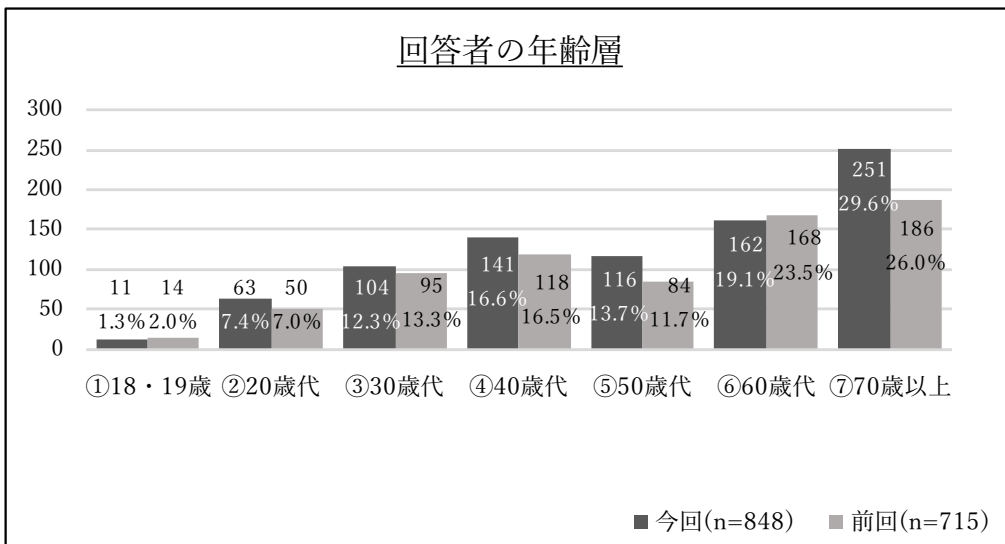
回収票 849 のうち、1 票を白紙および基本属性の未記載ため無効扱いとしたため、有効回答票は 848 (42.4%) となりました。

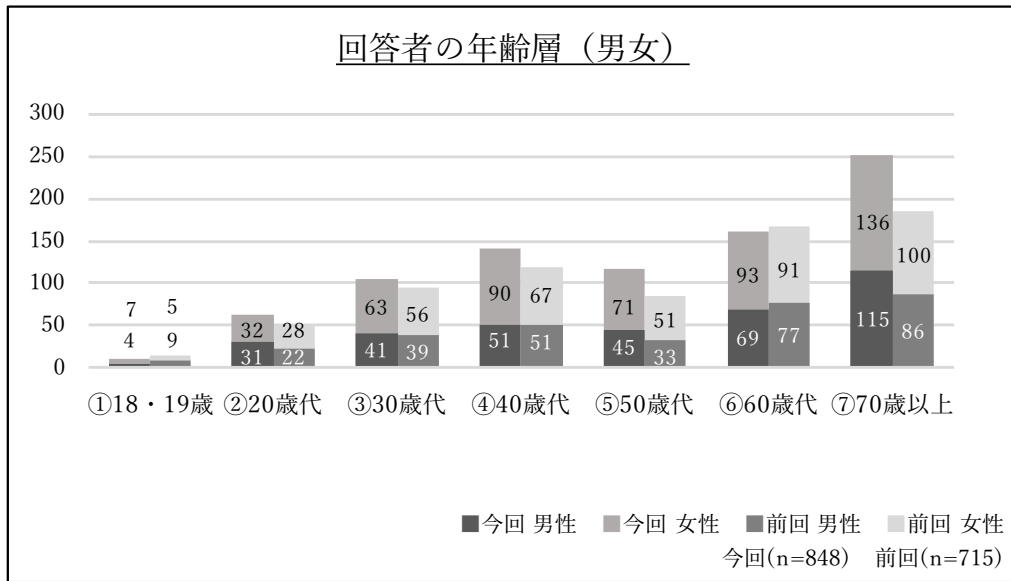
質問1. 性別をお尋ねいたします。



男性 356 名 (42.0%)、女性 492 名 (58.0%) で女性の回答比率が高くなっている。
 北島町の令和2年12月末の人口による男女比は、男性 48.5%：女性 51.5%。
 女性の人口比が高いので、アンケートもそれを反映した結果となった。

質問2. 年齢をお尋ねいたします。





●年齢別男女データ

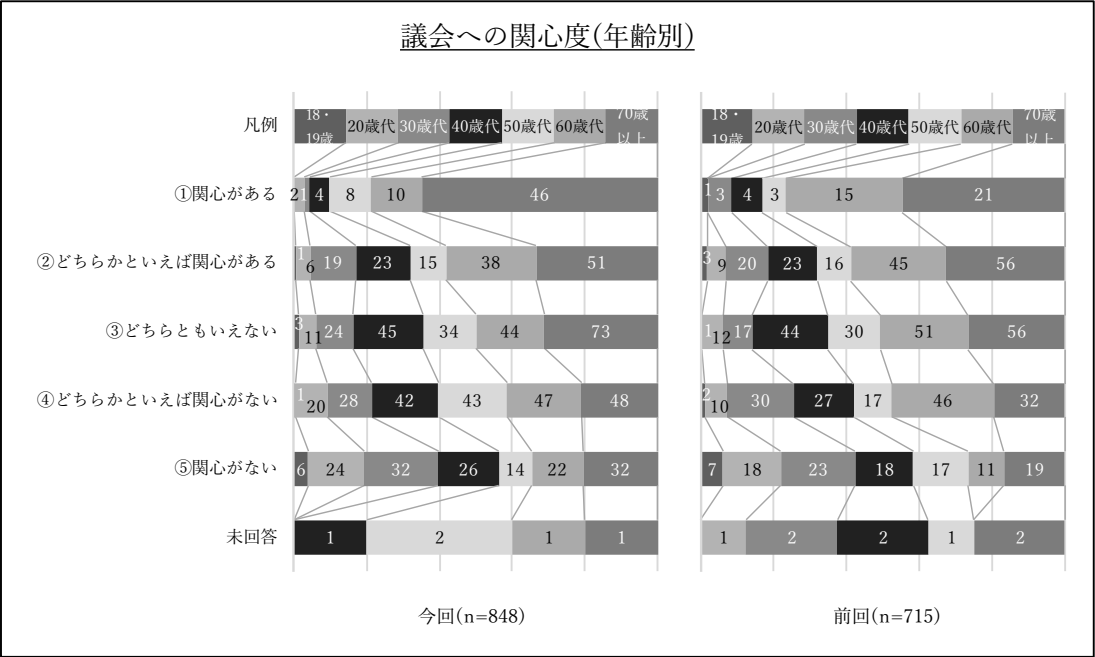
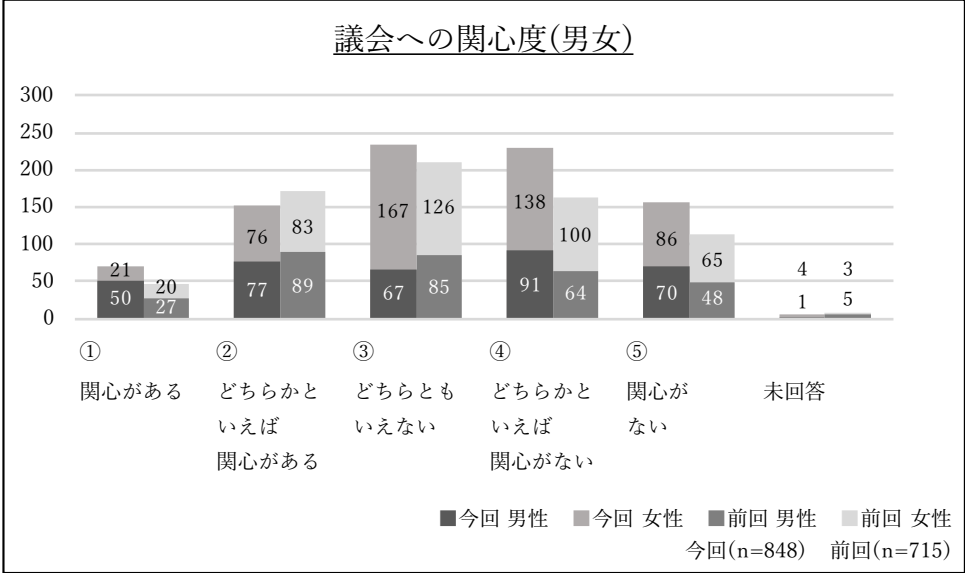
今回(n=848) 前回(n=715)

年齢	男性				女性				統計			
	今回		前回		今回		前回		今回		前回	
①18・19歳	4	0.5%	9	1.3%	7	0.8%	5	0.7%	11	1.3%	14	2.0%
②20歳代	31	3.7%	22	3.1%	32	3.8%	28	3.9%	63	7.4%	50	7.0%
③30歳代	41	4.8%	39	5.5%	63	7.4%	56	7.8%	104	12.3%	95	13.3%
④40歳代	51	6.0%	51	7.1%	90	10.6%	67	9.4%	141	16.6%	118	16.5%
⑤50歳代	45	5.3%	33	4.6%	71	8.4%	51	7.1%	116	13.7%	84	11.7%
⑥60歳代	69	8.1%	77	10.8%	93	11.0%	91	12.7%	162	19.1%	168	23.5%
⑦70歳以上	115	13.6%	86	12.0%	136	16.0%	100	14.0%	251	29.6%	186	26.0%
計	356	42.0%	317	44.3%	492	58.0%	398	55.7%	848	100.0%	715	100.0%

参考までに、地域経済分析システム RESAS の人口構成データ(2020 年)によると、北島町の 15 歳以上の人口は 1 万 9,527 人。うち 15 歳未満を含まない人口構成比では、20 歳代が 10.0%、30 歳代が 14.9%、40 歳代が 18.7%、50 歳代が 13.6%、60 歳代が 14.0%、70 歳以上が 23.3%である。RESAS の人口構成データは 5 歳区切りのため、必ずしもイコール条件での比較とはならないが、人口構成の割合でいえば、町民アンケートへの回答は、70 歳以上が最も高く、次いで 60 歳代、40 歳代が高い結果となった。

3 調査結果・北島町議会について

質問3. あなたは、議会に関心がありますか。

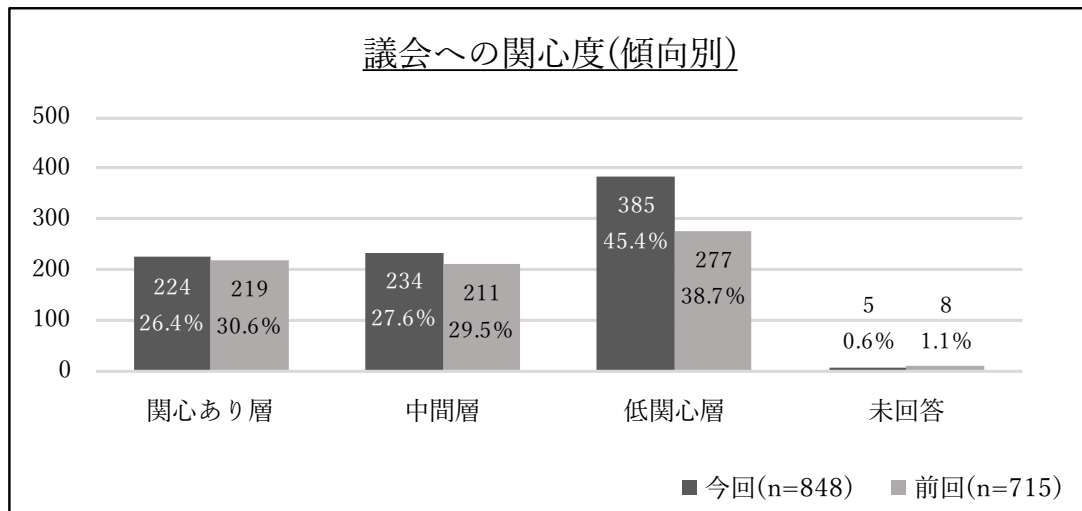


議会への関心の度合いは、70歳以上で最も高く、次いで60歳代が高くなっている。それとは逆に50歳代以下では、関心が薄い傾向にある。この年齢層は、労働力人口の中核である。

●年齢別男女データ

今回(n=848) 前回(n=715)

年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①関心がある		1			2			
②どちらかといえば関心がある	1			3	4	3	2	6
③どちらともいえない		1	3		4	9	7	3
④どちらかといえば関心がない		2	1		7	3	13	7
⑤関心がない	3	5	3	2	14	6	10	12
未回答						1		
計	4	9	7	5	31	22	32	28
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①関心がある	1	2		1	2		2	4
②どちらかといえば関心がある	6	9	13	11	9	11	14	12
③どちらともいえない	7	6	17	11	12	19	33	25
④どちらかといえば関心がない	12	13	16	17	14	10	28	17
⑤関心がない	15	8	17	15	13	10	13	8
未回答		1		1	1	1		1
計	41	39	63	56	51	51	90	67
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①関心がある	5	2	3	1	7	7	3	8
②どちらかといえば関心がある	8	9	7	7	20	24	18	21
③どちらともいえない	9	10	25	20	12	23	32	28
④どちらかといえば関心がない	17	6	26	11	23	18	24	28
⑤関心がない	6	6	8	11	7	5	15	6
未回答		1	2				1	
計	45	34	71	50	69	77	93	91
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性		今回	前回		
	今回	前回	今回	前回				
①関心がある	33	15	13	6	71(8.4)	47(6.6)		
②どちらかといえば関心がある	29	33	22	23	153(18.0)	172(24.1)		
③どちらともいえない	23	17	50	39	234(27.6)	211(29.5)		
④どちらかといえば関心がない	18	12	30	20	229(27.0)	164(22.9)		
⑤関心がない	12	8	20	11	156(18.4)	113(15.8)		
未回答		1	1	1	5(0.6)	8(1.1)		
計	115	86	136	100	848(100.0)	715(100.0)		

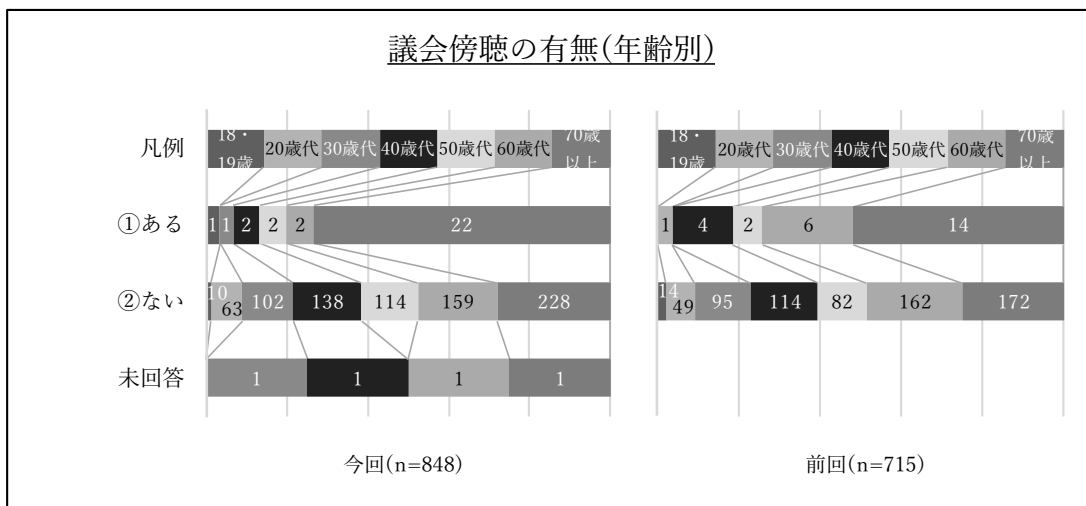
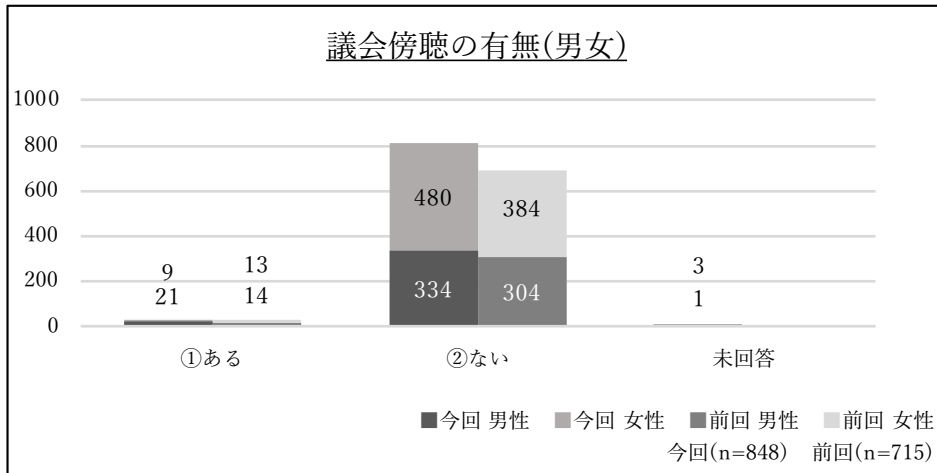


関心の度合いを3つの傾向に大別すると、「関心あり層」(①、②と回答)が26.4%、「低関心層」(④、⑤と回答)が45.4%、どちらともいえないと答えた「中間層」が27.6%という結果となった。

前回調査結果と比較すると、低関心層では6.7ポイント増加している。

4割半ばを占める「低関心層」、3割近い「中間層」に対し、如何にして関心を持ってもらうかの工夫やアプローチが今後の課題といえる。

質問4. あなたは、議会を傍聴したことはありますか。



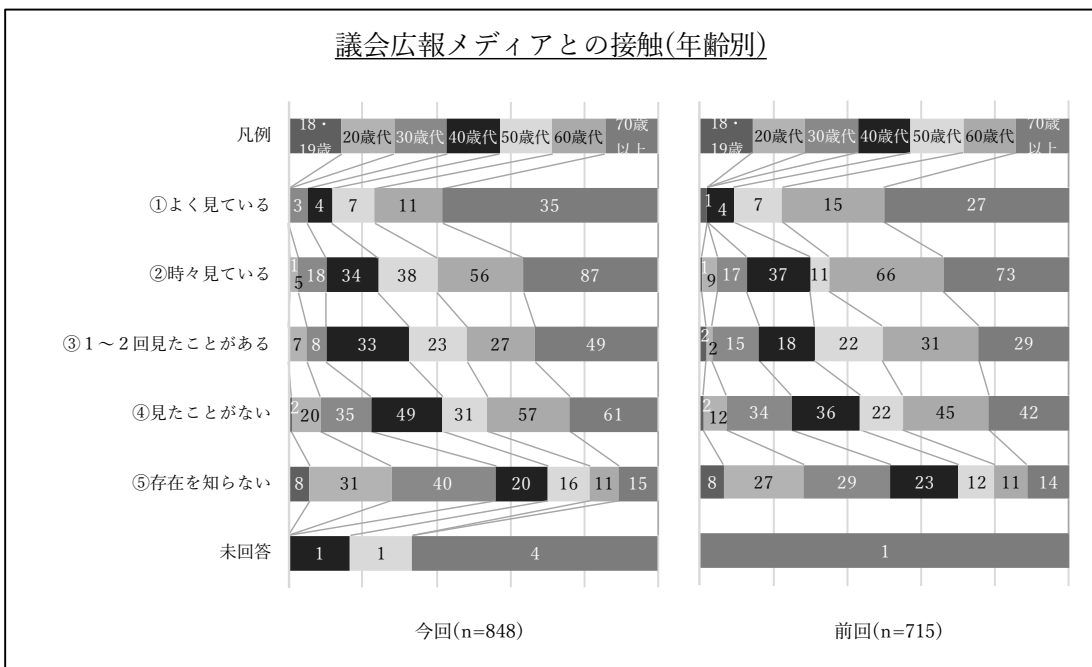
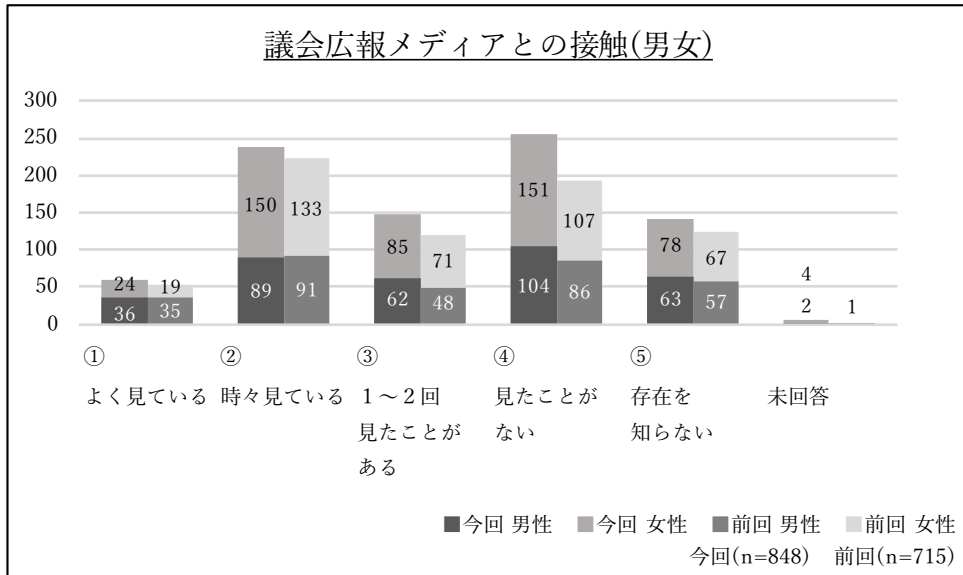
96%の方が「傍聴経験がない」と回答をしている。「傍聴経験あり」は、男性が女性よりも高くなっている。年齢別でみると、「傍聴経験あり」は70歳以上で高い。

●年齢別男女データ

今回(n=848) 前回(n=715)

年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①ある			1			1		
②ない	4	9	6	5	31	21	32	28
未回答								
計	4	9	7	5	31	22	32	28
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①ある			1		1	2	1	2
②ない	41	39	61	56	49	49	89	65
未回答			1		1			
計	41	39	63	56	51	51	90	67
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①ある	2	1		1	1	1	1	5
②ない	43	33	71	49	68	76	91	86
未回答							1	
計	45	34	71	50	69	77	93	91
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性		今回		前回	
	今回	前回	今回	前回				
①ある	17	9	5	5	30(3.5)		27(3.8)	
②ない	98	77	130	95	814(96.0)		688(96.2)	
未回答			1		4(0.5)		—	
計	115	86	136	100	848(100.0)		715(100.0)	

質問5. あなたは【議会だより】【議会ホームページ】【議会動画配信】をご覧になったことがありますか。



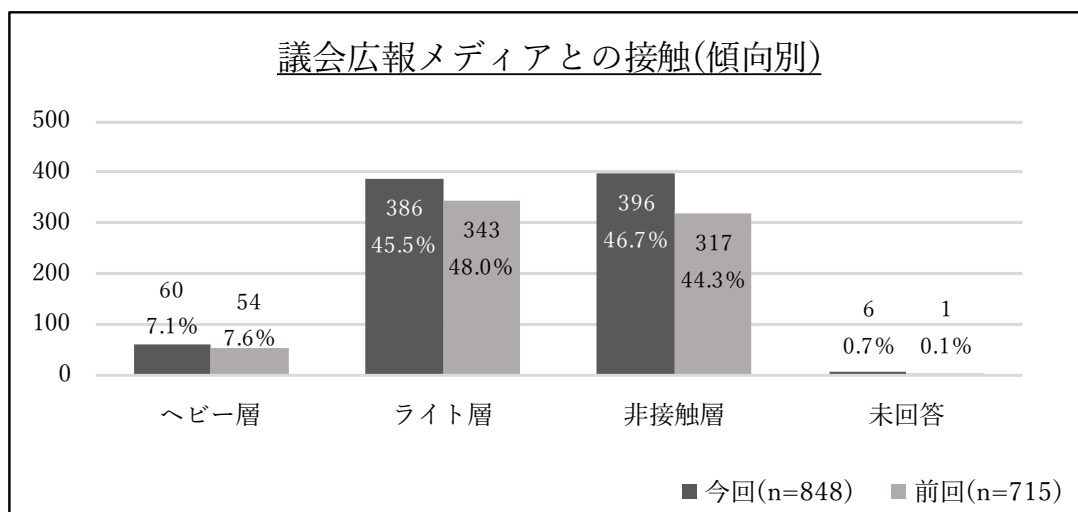
SNS や IT メディアとの接触が高いと思われる 30 歳代以下の多くが、議会ホームページ等の「存在を知らない」と回答している。

前回調査結果と比較すると、40 歳代では「1～2回見たことがある」と回答した方が増加している。このことから、今後の PR 戦略により、ホームページ等の存在をアピールし、認知度を高める余地がまだ残っていると判断できる。

●年齢別男女データ

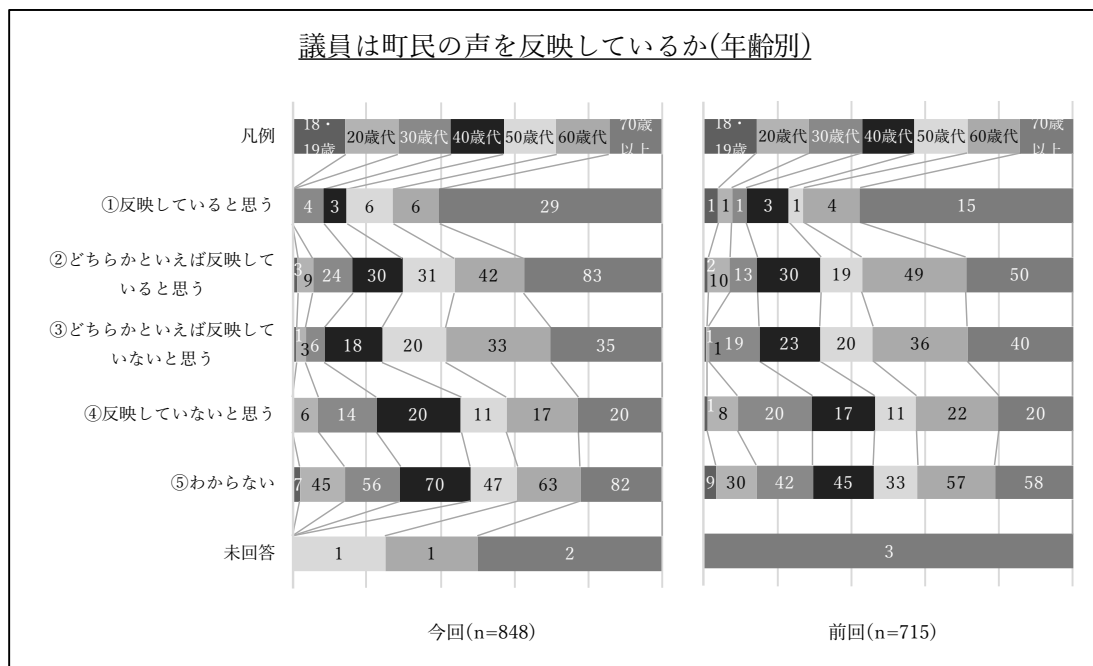
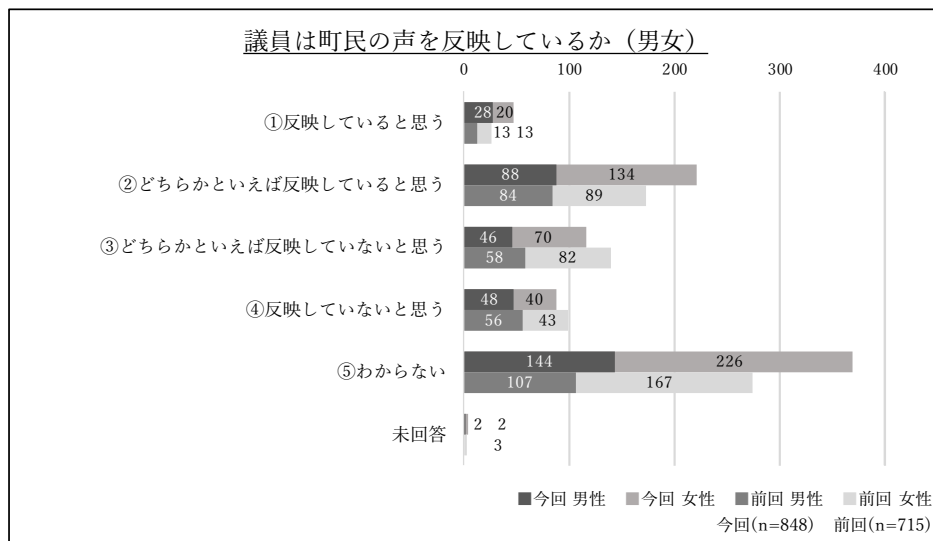
今回(n=848) 前回(n=715)

年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①よく見ている		1						
②時々見ている			1	1	3	5	2	4
③1～2回見たことがある				2	3	1	4	1
④見たことがない		2	2		10	5	10	7
⑤存在を知らない	4	6	4	2	15	11	16	16
未回答								
計	4	9	7	5	31	22	32	28
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①よく見ている	1		2		2	1	2	3
②時々見ている	7	6	11	11	11	15	23	22
③1～2回見たことがある		7	8	8	10	3	23	15
④見たことがない	16	14	19	20	20	22	29	14
⑤存在を知らない	17	12	23	17	7	10	13	13
未回答					1			
計	41	39	63	56	51	51	90	67
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①よく見ている	4	5	3	2	7	10	4	5
②時々見ている	12	6	26	15	15	25	41	41
③1～2回見たことがある	12	9	11	13	13	15	14	16
④見たことがない	9	9	22	13	28	20	29	25
⑤存在を知らない	7	5	9	7	6	7	5	4
未回答	1							
計	45	34	71	50	69	77	93	91
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性		今回		前回	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①よく見ている	22	18	13	9	60(7.1)	54(7.6)		
②時々見ている	41	34	46	39	239(28.2)	224(31.3)		
③1～2回見たことがある	24	13	25	16	147(17.3)	119(16.6)		
④見たことがない	21	14	40	28	255(30.1)	193(27.0)		
⑤存在を知らない	7	6	8	8	141(16.6)	124(17.3)		
未回答		1	4		6(0.7)	1(0.1)		
計	115	86	136	100	848(100.0)	715(100.0)		



議会活動を伝える広報メディア【議会だより】【議会ホームページ】【議会動画配信】との接触度合いを、ヘビー層①、ライト層②+③、非接触層④+⑤に区分すると、日常的に何らかの接触をしたことがある層①、②、③は52.6%と過半数を上回る。まったく見たことのない層や、ホームページ等を知らない層④、⑤が46.7%という結果となった。ただし、「1つ選択」のため【議会だより】はよく見るが、【議会動画配信】は知らないという町民が、「②時々見ている」を選択した可能性も考えられる。

質問6. あなたは、議員が町民の代表として、町政に町民の声を反映していると思いますか。



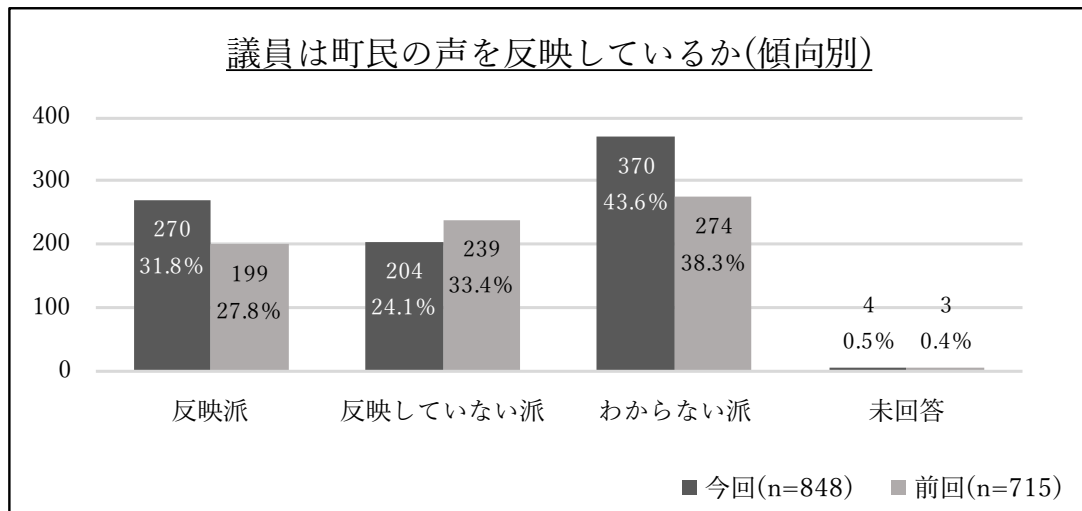
議員が町民の代表として、声を届ける役割を果たしていると評価する層(①、②)は、女性が男性より高くなっている。年齢別でみると、代表としての役割に、厳しい評価をしている年齢層は60歳代と70歳以上である。

前回調査結果と比較すると、30歳代、60歳代、70歳代では声を届ける役割を果たしていると感じる層(①、②)が増加している。

●年齢別男女データ

今回(n=848) 前回(n=715)

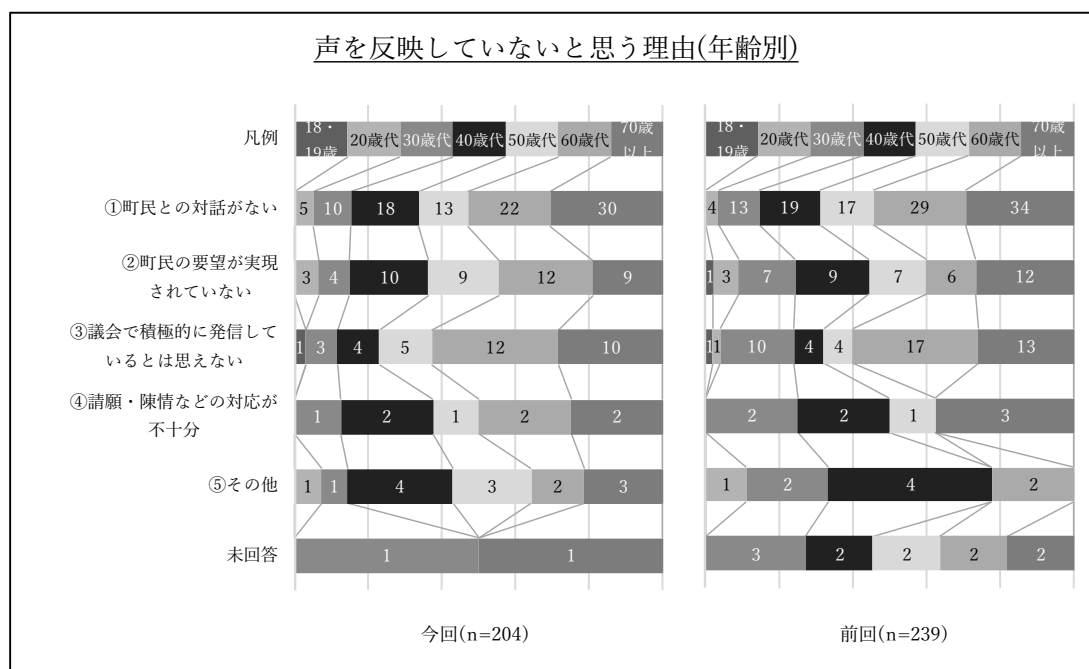
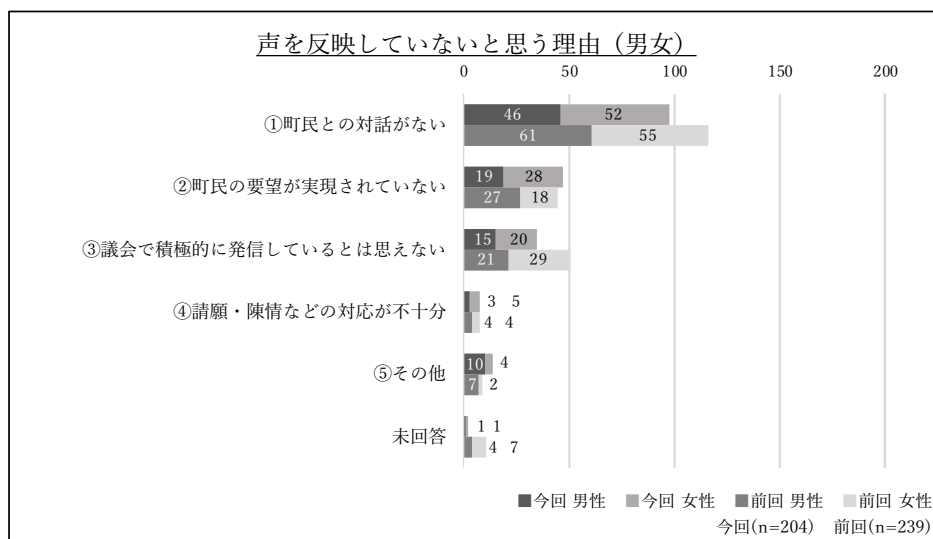
年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①反映していると思う		1						1
②どちらかといえば反映していると思う		1	3	1	6	8	3	2
③どちらかといえば反映していないと思う	1			1	2		1	1
④反映していないと思う		1			4	2	2	6
⑤わからない	3	6	4	3	19	12	26	18
未回答								
計	4	9	7	5	31	22	32	28
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①反映していると思う	2	1	2			2	3	1
②どちらかといえば反映していると思う	7	4	17	9	9	11	21	19
③どちらかといえば反映していないと思う	1	6	5	13	7	10	11	13
④反映していないと思う	10	11	4	9	11	9	9	8
⑤わからない	21	17	35	25	24	19	46	26
未回答								
計	41	39	63	56	51	51	90	67
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①反映していると思う	3		3	1	5	2	1	2
②どちらかといえば反映していると思う	10	9	21	10	13	22	29	27
③どちらかといえば反映していないと思う	7	8	13	12	15	16	18	20
④反映していないと思う	7	6	4	5	6	12	11	10
⑤わからない	17	11	30	22	29	25	34	32
未回答	1				1			
計	45	34	71	50	69	77	93	91
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性		今回	前回		
	今回	前回	今回	前回				
①反映していると思う	18	7	11	8	48(5.7)	26(3.6)		
②どちらかといえば反映していると思う	43	29	40	21	222(26.2)	173(24.2)		
③どちらかといえば反映していないと思う	13	18	22	22	116(13.7)	140(19.6)		
④反映していないと思う	10	15	10	5	88(10.4)	99(13.8)		
⑤わからない	31	17	51	41	370(43.6)	274(38.3)		
未回答			2	3	4(0.5)	3(0.4)		
計	115	86	136	100	848(100.0)	715(100.0)		



「町民の声を反映派」(①、②)と、「反映していない派」(③、④)、「わからない派」(⑤)という3つに大別して比較すると、肯定的に受け止めている町民が、反映していないと思っている層より、7.8ポイント上回っていることがわかる。最も多かったのは「わからない」との回答で、男性の144名に比べ女性的人数が226名と大幅に上回っている。前回調査結果と比較すると、反映派が反映していない派よりも多くなったものの、わからない派も5.3ポイント増加している。

このことから、「わからない派」に対して、議会への認知度や関心度の向上を図るなどの対策を行う必要があると考えられる。

質問7. 質問6で「どちらかといえば反映していないと思う」「反映していないと思う」を選択された方のみ、その理由を教えてください。(1つ選択)



質問6でマイナス評価をした204名の回答を見ると、男女ともに前回調査結果から人数は減ったものの、依然として「町民との対話がない」との意見が多い。引き続き、対話の機会を増やし、積み重ねることによって、町民からの印象を好転できる可能性が高い。町政への不満も、対話によって改善されてゆくと思われる。

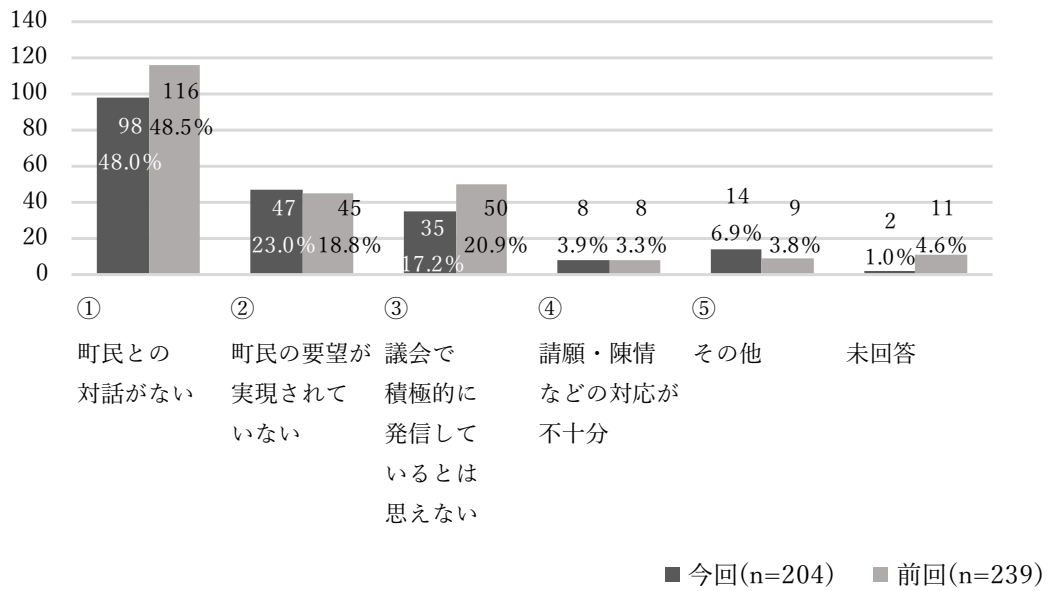
前回調査結果と比較すると、「町民の要望が実現されていない」では、60歳代が占める割合が増加しており、「議会で積極的に発信しているとは思えない」では、30歳代が占める割合が減少している。

●年齢別男女データ

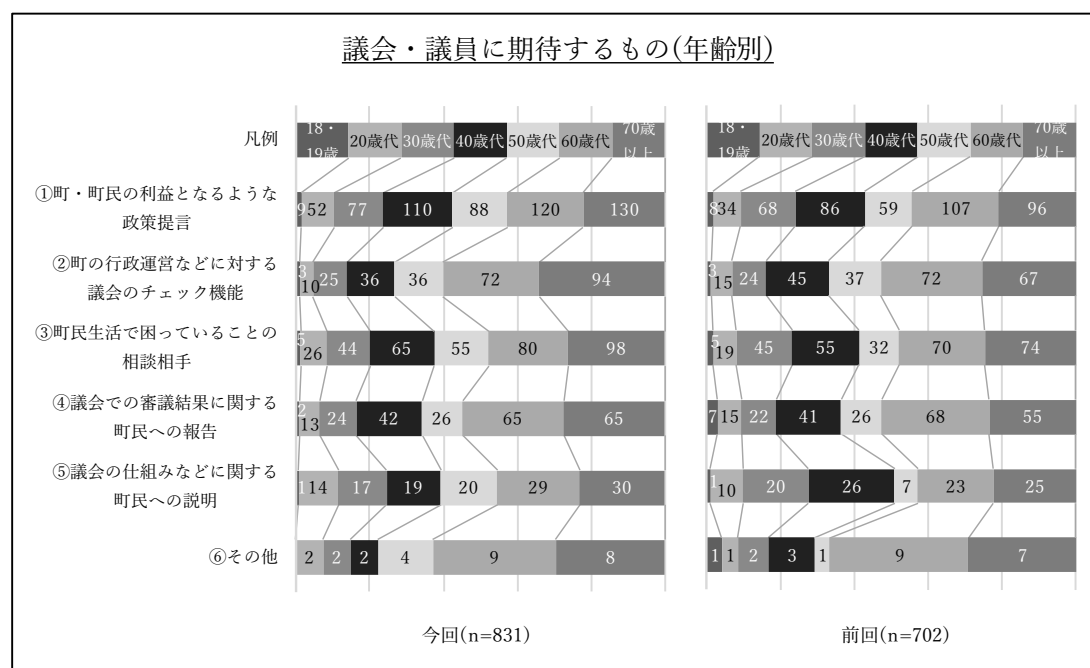
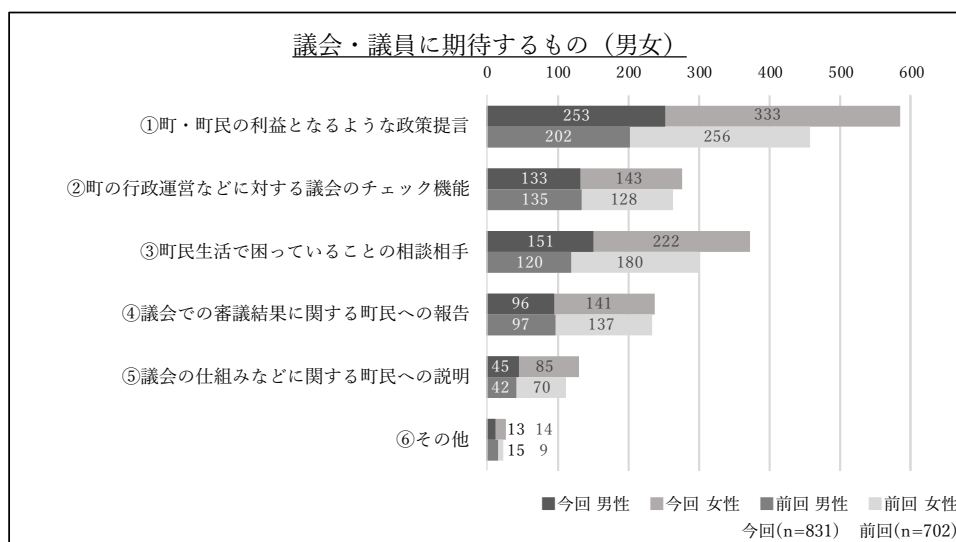
今回(n=204) 前回(n=239)

年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町民との対話がない					4		1	4
②町民の要望が実現されていない		1			1	1	2	2
③議会で積極的に発信しているとは思えない	1			1		1		
④請願・陳情などの対応が不十分								
⑤その他					1			1
未回答								
計	1	1		1	6	2	3	7
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町民との対話がない	4	6	6	7	10	10	8	9
②町民の要望が実現されていない	3	3	1	4	3	2	7	7
③議会で積極的に発信しているとは思えない	2	5	1	5	1	3	3	1
④請願・陳情などの対応が不十分		1	1	1	2	1		1
⑤その他	1			2	2	1	2	3
未回答	1	1		2		2		
計	11	16	9	21	18	19	20	21
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町民との対話がない	4	8	9	9	10	12	12	17
②町民の要望が実現されていない	3	3	6	4	5	3	7	3
③議会で積極的に発信しているとは思えない	3	2	2	2	5	8	7	9
④請願・陳情などの対応が不十分	1			1			2	
⑤その他	3				1	1	1	1
未回答		1		1		2		
計	14	14	17	17	21	26	29	30
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性		今回	前回		
	今回	前回	今回	前回				
①町民との対話がない	14	19	16	15	98(48.0)	116(48.5)		
②町民の要望が実現されていない	4	5	5	7	47(23.0)	45(18.8)		
③議会で積極的に発信しているとは思えない	3	10	7	3	35(17.2)	50(20.9)		
④請願・陳情などの対応が不十分		2	2	1	8(3.9)	8(3.3)		
⑤その他	2		1		14(6.9)	9(3.8)		
未回答		1	1	1	2(1.0)	11(4.6)		
計	23	37	32	27	204(100.0)	239(100.0)		

声を反映していないと思う理由



質問8. 議会や議員のあるべき姿として、何を期待しますか。(複数回答)



男女とも、「町・町民の利益となるような政策提言」への回答が最も多く、次いで「町民生活で困っていることの相談相手」、「町の行政運営などに対する議会のチェック機能」への回答が多かった。「自由記述意見」では、議会に対し「政策提言」への期待の高さに起因する意見があった。

また、「議会での審議結果に関する町民への報告」という回答も一定数あり、質問7で「町民との対話がない」との回答数と呼応している。

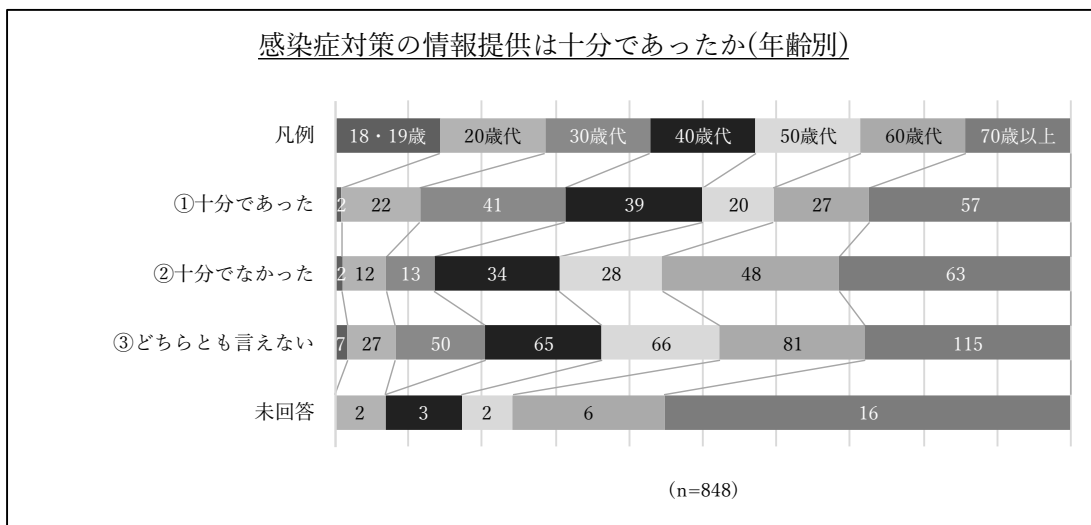
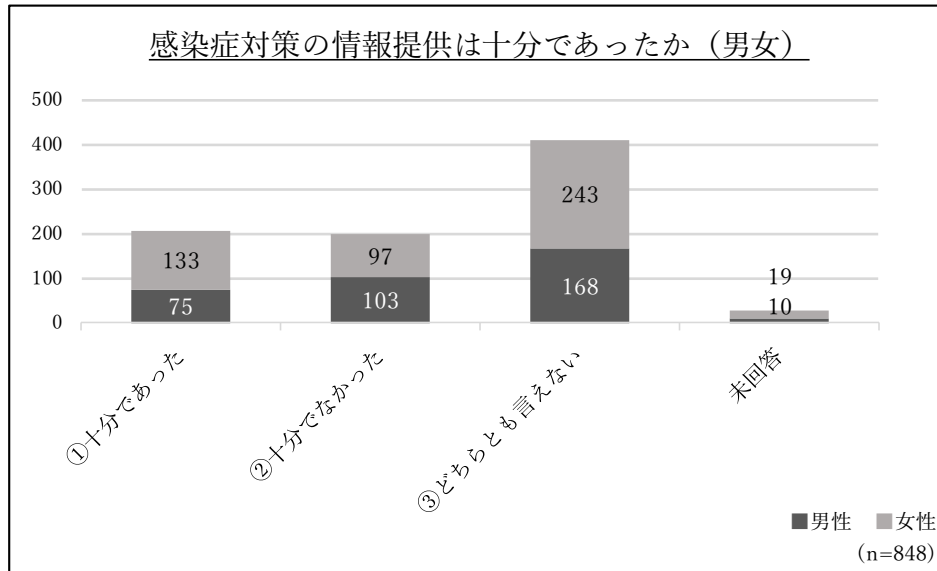
●年齢別男女データ

今回(n=831) 前回(n=702)

年齢	18・19歳				20歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町・町民の利益となるような政策提言	3	5	6	3	25	15	27	19
②町の行政運営などに対する議会のチェック機能	2	1	1	2	7	6	3	9
③町民生活で困っていることの相談相手	1	2	4	3	12	9	14	10
④議会での審議結果に関する町民への報告		2	2	5	6	6	7	9
⑤議会の仕組みなどに関する町民への説明			1	1	7	3	7	7
⑥その他		1			2			1
未回答		1		1			1	
計	6	12	14	15	59	39	59	55
年齢	30歳代				40歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町・町民の利益となるような政策提言	29	26	48	42	42	34	68	52
②町の行政運営などに対する議会のチェック機能	10	11	15	13	15	20	21	25
③町民生活で困っていることの相談相手	17	16	27	29	23	22	42	33
④議会での審議結果に関する町民への報告	8	7	16	15	15	16	27	25
⑤議会の仕組みなどに関する町民への説明	6	7	11	13	3	13	16	13
⑥その他	1	1	1	1	1	3	1	
未回答			1				1	
計	71	68	119	113	99	108	176	148
年齢	50歳代				60歳代			
性別	男性		女性		男性		女性	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
①町・町民の利益となるような政策提言	34	25	54	34	53	49	67	58
②町の行政運営などに対する議会のチェック機能	16	17	20	20	34	39	38	33
③町民生活で困っていることの相談相手	21	10	34	22	35	33	45	37
④議会での審議結果に関する町民への報告	6	8	20	18	28	33	37	35
⑤議会の仕組みなどに関する町民への説明	8	2	12	5	11	8	18	15
⑥その他	3	1	1		3	4	6	5
未回答		1	3	2		1	1	1
計	88	64	144	101	164	167	212	184
年齢	70歳以上				統計(%)			
性別	男性		女性					
	今回	前回	今回	前回	今回	前回		
①町・町民の利益となるような政策提言	67	48	63	48	586(70.5)	458(65.2)		
②町の行政運営などに対する議会のチェック機能	49	41	45	26	276(33.2)	263(37.5)		
③町民生活で困っていることの相談相手	42	28	56	46	373(44.9)	300(42.7)		
④議会での審議結果に関する町民への報告	33	25	32	30	237(28.5)	234(33.3)		
⑤議会の仕組みなどに関する町民への説明	10	9	20	16	130(15.6)	112(16.0)		
⑥その他	3	5	5	2	27(3.2)	24(3.4)		
未回答			10	6	17(-)	13(-)		
計	204	156	231	174				

4 調査結果・新型コロナウイルス感染症対策等について

質問9. 北島町からの新型コロナウイルス感染症対策の情報提供は、十分でしたか。



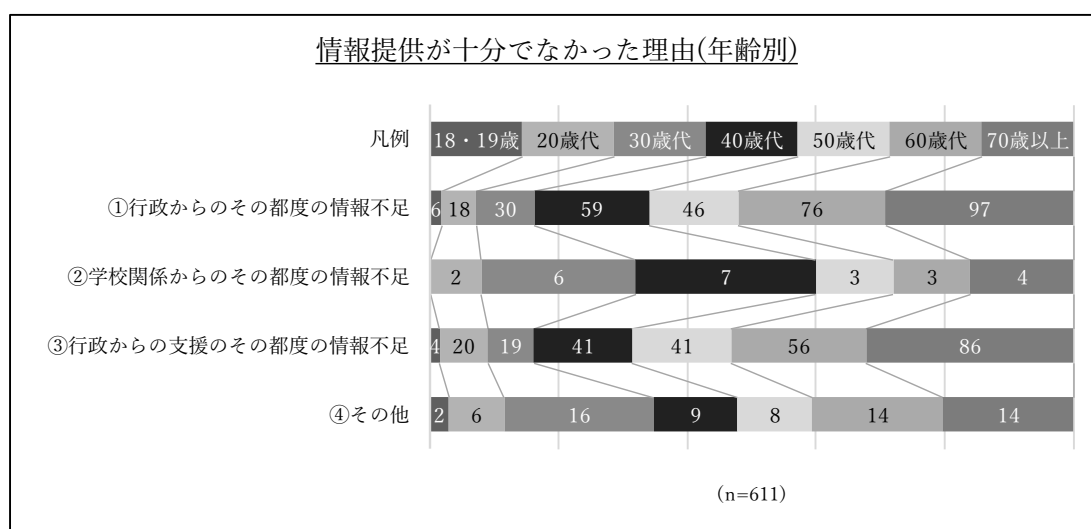
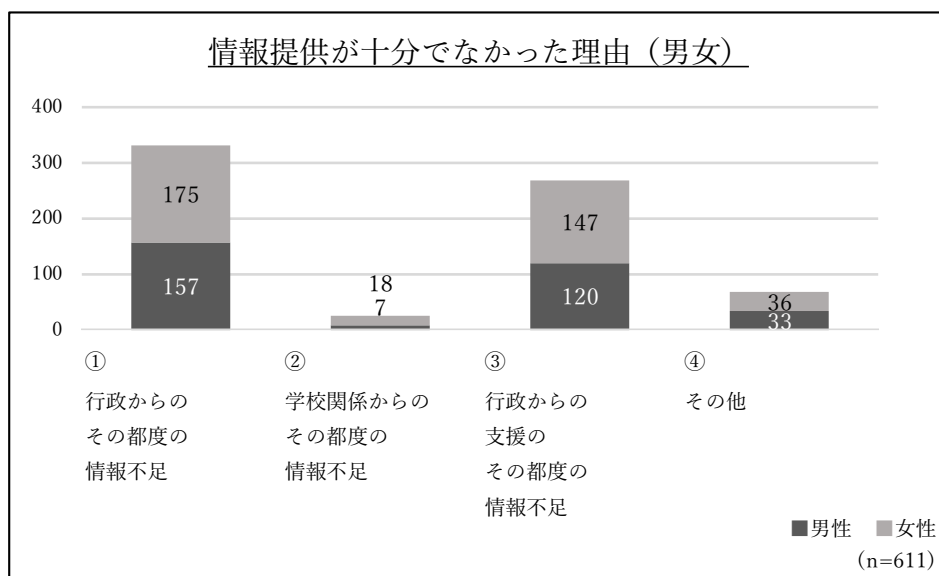
北島町からの新型コロナウイルス感染症対策の情報提供は十分であったと評価する層は、20歳代と30歳代で高くなっている。性別で見ると、情報提供は十分でなかったと評価する層は、男性が女性よりも高くなっている。

●年齢別男女データ

(n=848)

年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①十分であった	1	1	10	12	14	27	10	29
②十分でなかった	1	1	8	4	5	8	11	23
③どちらとも言えない	2	5	11	16	22	28	28	37
未回答			2				2	1
計	4	7	31	32	41	63	51	90
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①十分であった	8	12	11	16	21	36	208(24.5)	
②十分でなかった	15	13	25	23	38	25	200(23.6)	
③どちらとも言えない	22	44	32	49	51	64	411(48.5)	
未回答		2	1	5	5	11	29(3.4)	
計	45	71	69	93	115	136	848(100.0)	

質問10. 質問9で「十分でなかった」「どちらとも言えない」を選択された方のみ、その理由を教えてください。(複数選択)



質問9の理由としては、「行政からのその都度の情報不足」「行政からの支援のその都度の情報不足」の2つに対する回答が多い。

●年齢別男女データ

(n=611)

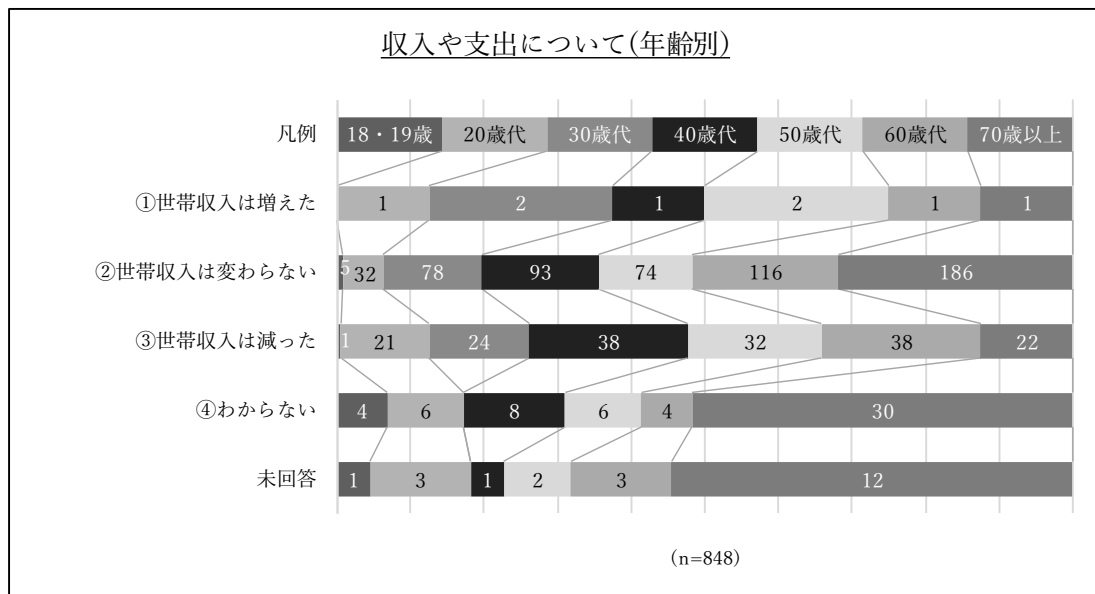
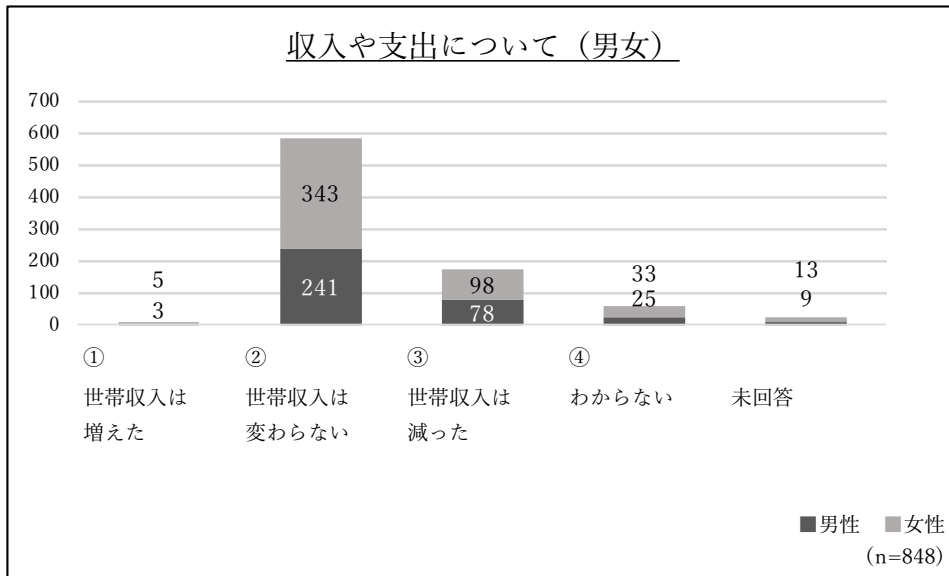
年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①行政からのその都度の情報不足	1	5	11	7	14	16	23	36
②学校関係からのその都度の情報不足			2			6	2	5
③行政からの支援のその都度の情報不足	1	3	11	9	7	12	19	22
④その他	1	1	2	4	10	6	3	6
未回答			1	2		4		2
計	3	9	27	22	31	44	47	71
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①行政からのその都度の情報不足	15	31	37	39	56	41	332(54.3)	
②学校関係からのその都度の情報不足	2	1	1	2		4	25(4.1)	
③行政からの支援のその都度の情報不足	17	24	25	31	40	46	267(43.7)	
④その他	4	4	7	7	6	8	69(11.3)	
未回答	5	7	5	5	6	9	46(7.5)	
計	43	67	75	84	108	108		

●情報提供が十分でなかった理由と、「十分でなかった」「どちらとも言えない」(質問9)との関係

	十分で なかった	どちらとも 言えない	総計
①行政からのその都度の情報不足	144	188	332
②学校関係からのその都度の情報不足	12	13	25
③行政からの支援のその都度の情報不足	97	170	267
④その他	17	52	69
未回答	4	42	46
総計	274	465	

上の表は、質問9とのクロス集計を試みたものである。新型コロナウイルス感染症対策の情報提供は「十分でなかった」とした回答者の中では、「行政からのその都度の情報不足」が144名で最も多い。また、「どちらとも言えない」とした回答者の中では、「行政からのその都度の情報不足」(188名)とともに「行政からの支援のその都度の情報不足」(170名)との意見も多く見られる。

質問1 1. 新型コロナウイルス感染で、収入や支出はどうなりましたか。

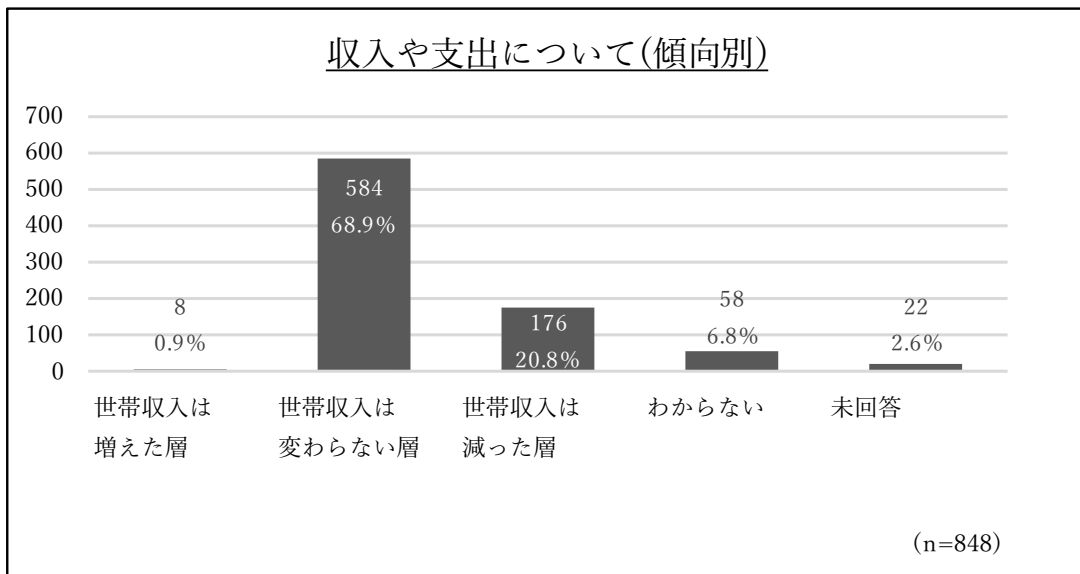


新型コロナウイルス感染で、収入はほぼ変わらないとする層が最も高くなっている。年齢別でみると、「世帯収入は減った」では40歳代、60歳代からの回答が多くなっている。

●年齢別男女データ

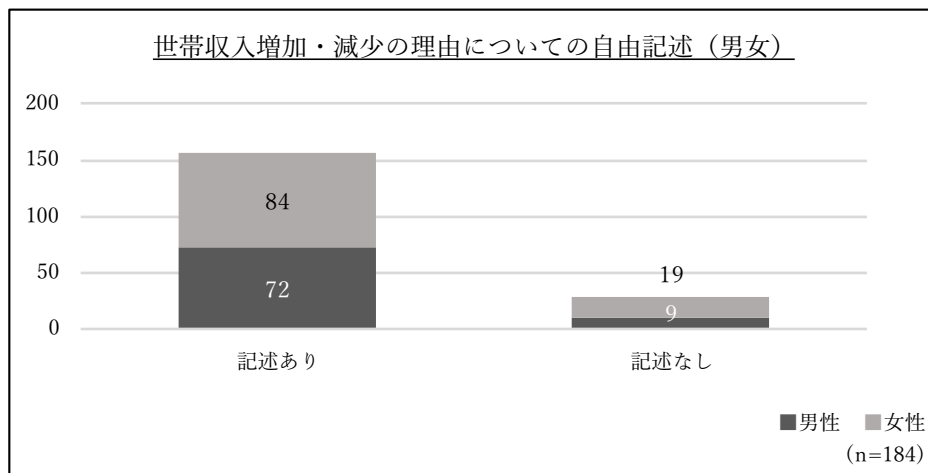
(n=848)

年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①世帯収入は増えた			1			2		1
②世帯収入は変わらない	2	3	17	15	33	45	28	65
③世帯収入は減った		1	8	13	8	16	19	19
④わからない	2	2	2	4			4	4
未回答		1	3					1
計	4	7	31	32	41	63	51	90
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①世帯収入は増えた	1	1		1	1		8(0.9)	
②世帯収入は変わらない	24	50	49	67	88	98	584(68.9)	
③世帯収入は減った	17	15	17	21	9	13	176(20.8)	
④わからない	2	4	2	2	13	17	58(6.8)	
未回答	1	1	1	2	4	8	22(2.6)	
計	45	71	69	93	115	136	848(100.0)	



「世帯収入は増えた層」(①)と、「世帯収入は変わらない層」(②)、「世帯収入は減った層」(③)、「わからない」(④)という4つに大別し比較すると、「世帯収入は変わらない層」が7割近くで最も多く、次いで「世帯収入は減った層」が2割となっている。

質問12. 質問11で「世帯収入は増えた」または「世帯収入は減った」を選択された方のみ、その理由を教えてください。

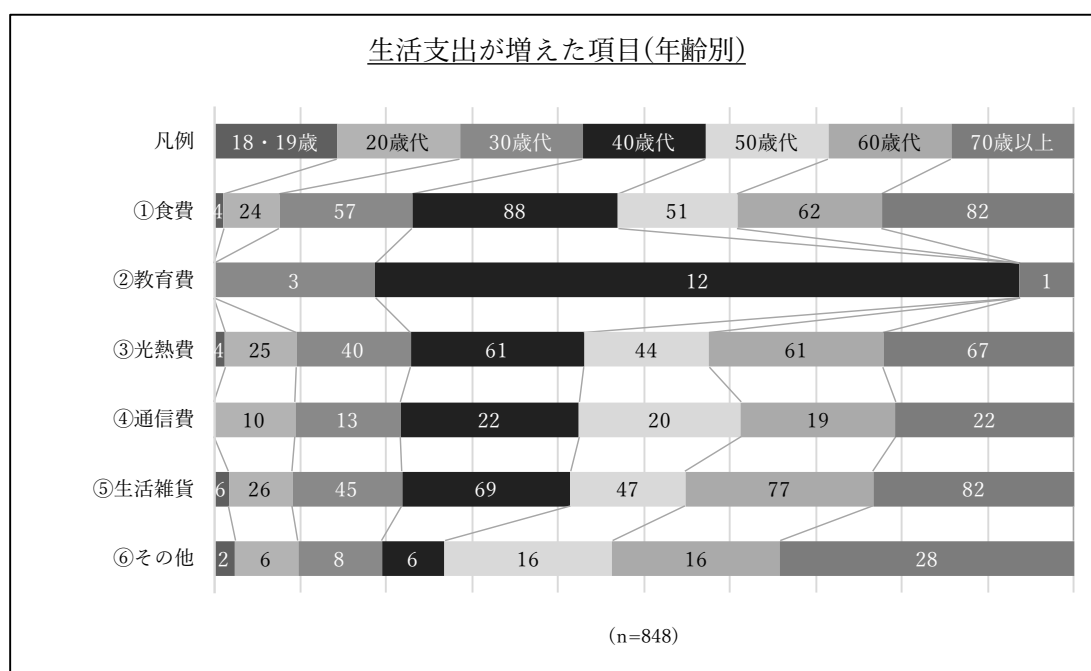
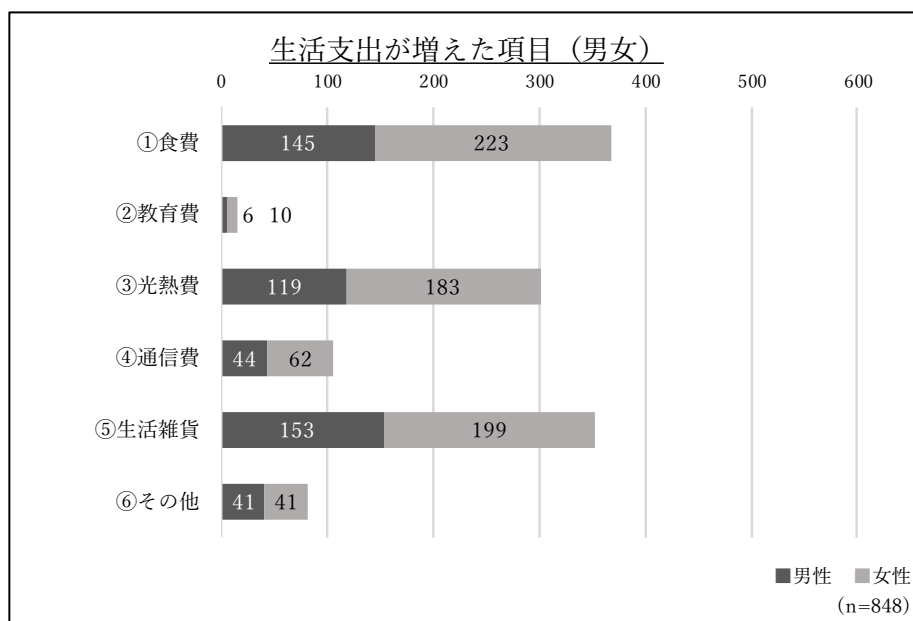


(n=184)

年齢	男性	女性
①18・19歳		1
②20歳代	9	9
③30歳代	8	14
④40歳代	17	19
⑤50歳代	15	14
⑥60歳代	15	17
⑦70歳以上	8	10
小計	72	84
合計	156	

質問11の理由への記入は、有効回答184名中、84.8%にあたる156名からあった。男女ともに40歳代の声が多かった。減少の理由では、20歳代から50歳代の働いている年代で、時短営業による影響、給料の減額、失業などの理由が散見される。

質問13. 新型コロナウイルス感染で、生活支出が増えた項目はどれですか。(複数選択)



生活支出が増えた項目については、「食費」「生活雑貨」「光熱費」の3つに対する回答が高く、40歳代と60歳代、70歳以上からの回答が多い傾向にある。

●年齢別男女データ

(n=848)

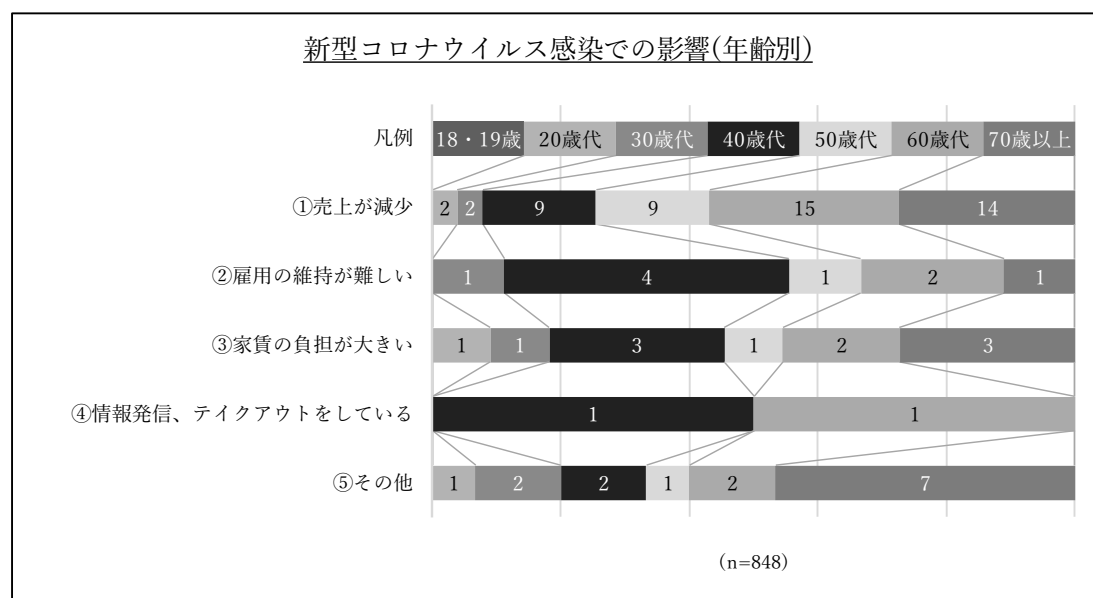
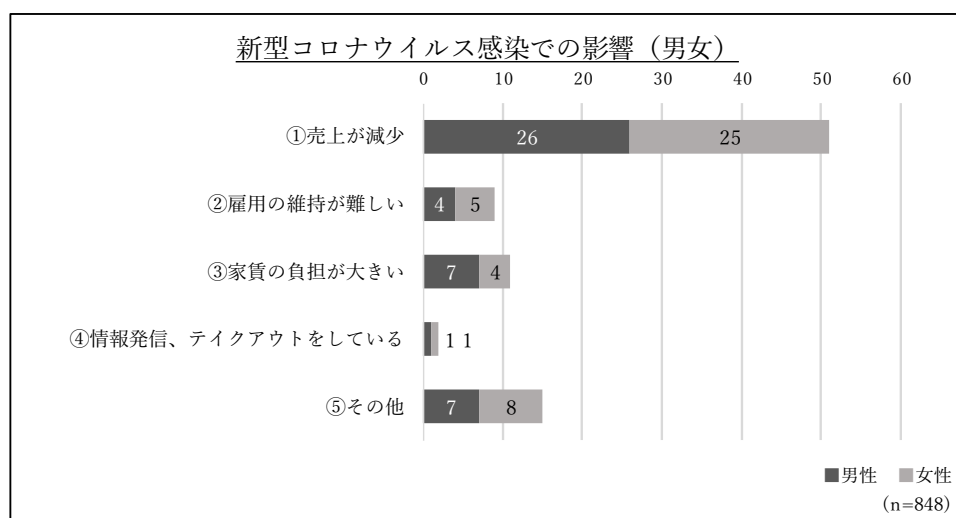
年齢	18～19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①食費	1	3	12	12	20	37	29	59
②教育費					1	2	4	8
③光熱費	1	3	8	17	15	25	20	41
④通信費			4	6	6	7	7	15
⑤生活雑貨	4	2	16	10	21	24	21	48
⑥その他		2	5	1	4	4	3	3
未回答			3	7	4	5	3	2
計	6	10	48	53	71	104	87	176
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①食費	21	30	24	38	38	44	368(43.4)	
②教育費					1		16(1.9)	
③光熱費	14	30	28	33	33	34	302(35.6)	
④通信費	9	11	11	8	7	15	106(12.5)	
⑤生活雑貨	18	29	31	46	42	40	352(41.5)	
⑥その他	7	9	8	8	14	14	82(9.7)	
未回答	2	6	9	13	27	28	109(-)	
計	71	115	111	146	162	175		

●生活支出が増えた項目と、収入や支出（質問11）との関係

	世帯収入は 増えた	世帯収入は 変わらない	世帯収入は 減った	わからない	未回答	総計
①食費	1	243	103	19	2	368
②教育費	0	12	2	2	0	16
③光熱費	3	199	81	17	2	302
④通信費	0	71	28	5	2	106
⑤生活雑貨	2	241	81	24	4	352
⑥その他	3	65	11	2	1	82
未回答	1	70	9	12	17	109
総計	10	901	315	81	28	

上の表は、質問11とのクロス集計を試みたものである。「世帯収入は変わらない」とした回答者の中では、「食費」(243名)や「生活雑貨」(241名)への支出が多く見られ、「光熱費」も199名と多い。「世帯収入は減った」とした回答者の中では、特に「食費」(103名)での支出が多く、次いで「光熱費」と「生活雑貨」がそれぞれ81名となっている。

質問14. 個人事業者の方にお伺いします。新型コロナウイルス感染での影響はどうか。



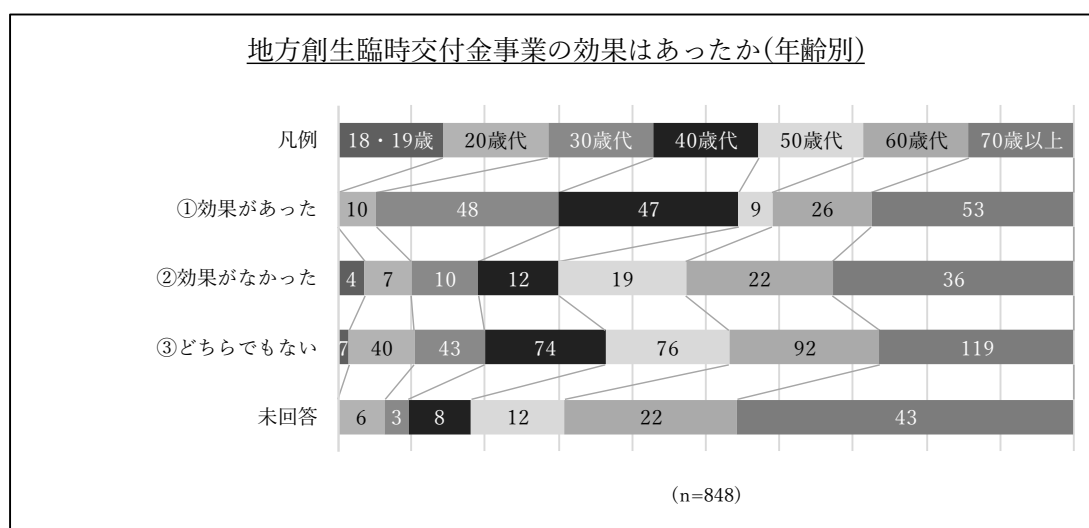
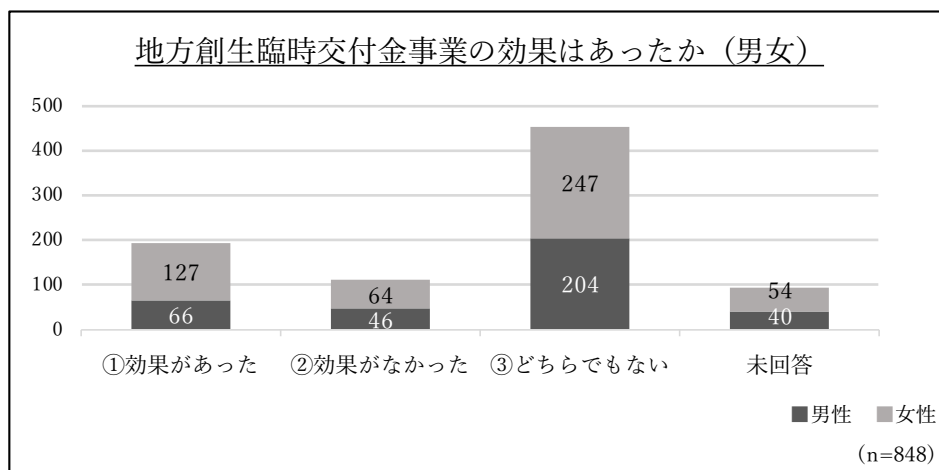
新型コロナウイルスでの影響について、男女ともに「売上が減少」との回答が圧倒的に多い。これは60歳代と70歳以上からの回答が多くなっている。また、「雇用の維持が難しい」「家賃の負担が大きい」の2つに対する回答も一定数見られる。

●年齢別男女データ

(n=848)

年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①売上が減少			2		1	1	6	3
②雇用の維持が難しい					1		1	3
③家賃の負担が大きい				1		1	2	1
④情報発信、テイクアウトをしている								1
⑤その他			1			2	1	1
未回答	4	7	28	31	39	59	43	82
計	4	7	31	32	41	63	53	91
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①売上が減少	6	3	7	8	4	10	51(6.0)	
②雇用の維持が難しい	1		1	1		1	9(1.1)	
③家賃の負担が大きい		1	2		3		11(1.3)	
④情報発信、テイクアウトをしている			1				2(0.2)	
⑤その他	1			2	4	3	15(1.8)	
未回答	38	68	60	82	104	123	768(90.6)	
計	46	72	71	93	115	137		

質問15. 北島町が実施している地方創生臨時交付金事業（子育て・高齢者世帯・事業所支援等）について効果がありましたか。



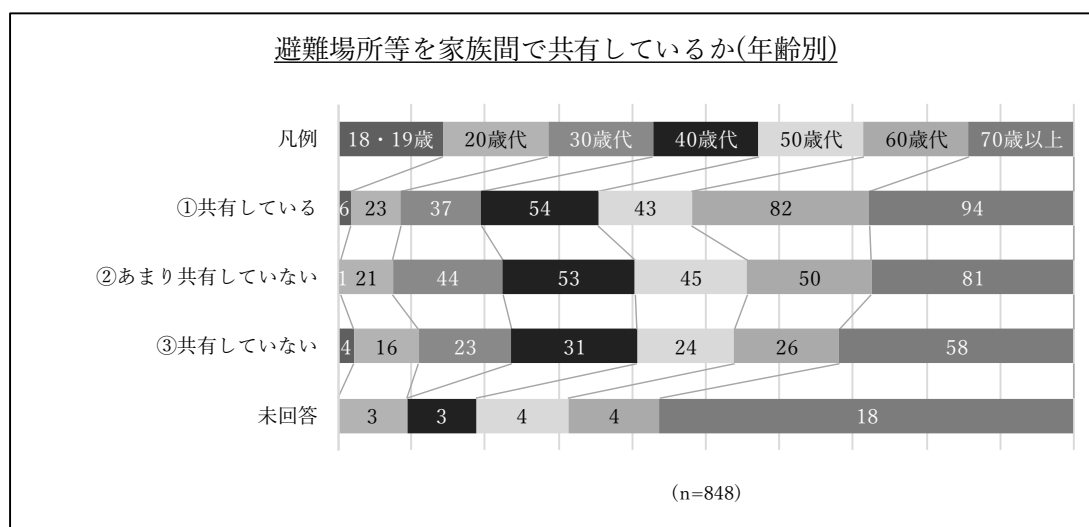
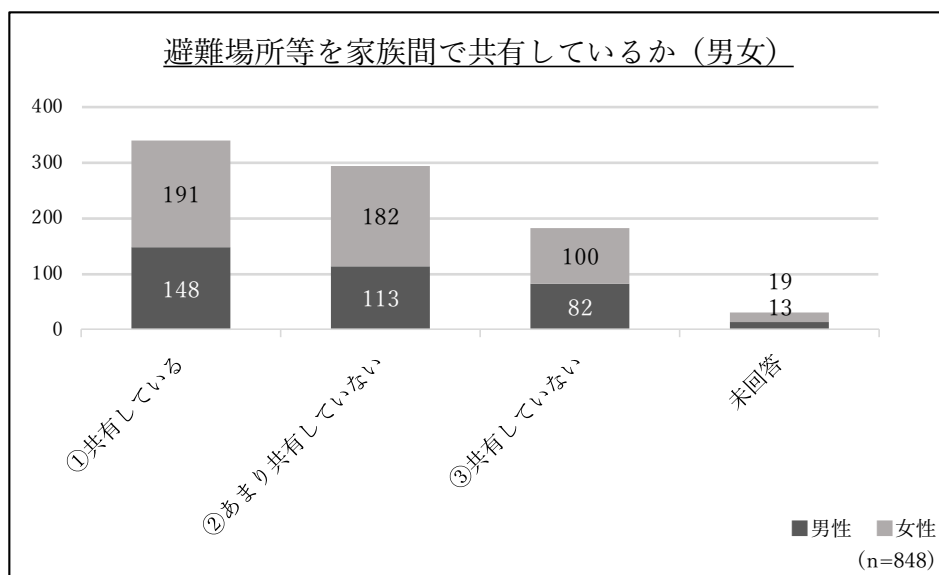
地方創生臨時交付金事業の効果について、「効果があった」との回答は30歳代、40歳代では最も高くなっている。特に40歳代は、質問11の「世帯収入は減った」への回答数や質問13の生活支出が増えた上位項目への回答数と呼応している。

●年齢別男女データ

(n=848)

年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①効果があった			5	5	15	33	15	32
②効果がなかった	1	3	3	4	3	7	8	4
③どちらでもない	3	4	19	21	22	21	28	46
未回答			4	2	1	2		8
計	4	7	31	32	41	63	51	90
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
①効果があった	3	6	10	16	18	35	193(22.8)	
②効果がなかった	7	12	9	13	15	21	110(13.0)	
③どちらでもない	29	47	41	51	62	57	451(53.2)	
未回答	6	6	9	13	20	23	94(11.1)	
計	45	71	69	93	115	136	848(100.0)	

質問16. 台風・豪雨の時に、行政から住民に対して【とるべき行動】を、警戒レベル5段階で発信しています。警戒レベル4（全員が緊急避難）が発信された場合、避難場所等を家族間で共有されていますか。



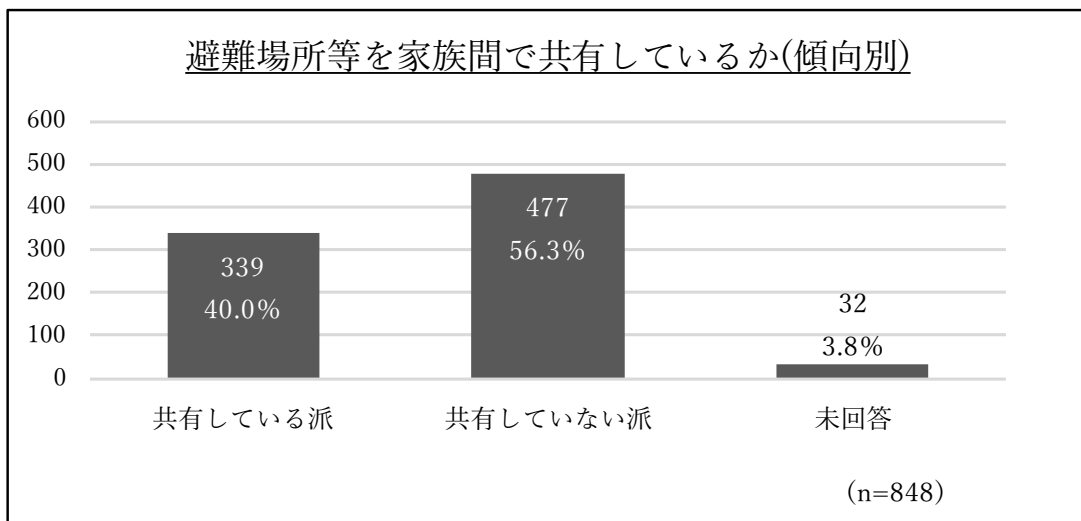
警戒レベル4が発信された場合、避難場所等を家族間で「共有している」との回答は60歳代では最も高くなっている。一方で、70歳以上では共有していない派が多い傾向にある。

●年齢別男女データ

(n=848)

年齢	18・19歳		20歳代		30歳代		40歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①共有している	4	2	12	11	16	21	19	35
②あまり共有していない		1	10	11	16	28	20	33
③共有していない		4	7	9	9	14	12	19
未回答			2	1				3
計	4	7	31	32	41	63	51	90

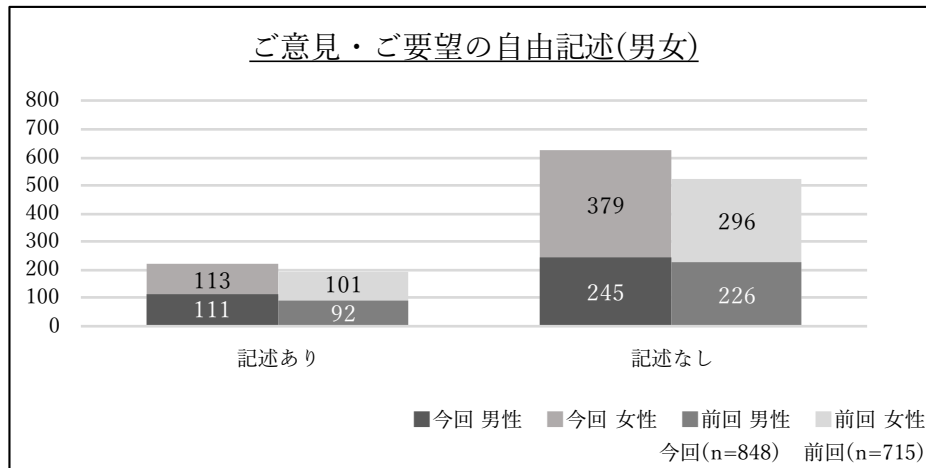
年齢	50歳代		60歳代		70歳以上		統計(%)
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
①共有している	21	22	34	48	42	52	339(40.0)
②あまり共有していない	11	34	19	31	37	44	295(34.8)
③共有していない	10	14	14	12	30	28	182(21.5)
未回答	3	1	2	2	6	12	32(3.8)
計	45	71	69	93	115	136	848(100.0)



共有しているかどうかについて2つの傾向に大別すると、「共有している派」(①)が40.0%、「共有していない派」(②、③)が56.3%という結果になった。現状、共有していない派が共有している派を上回っているが、災害対策も兼ね、5割半ばを占める「共有していない派」へのアプローチをどうするかが今後の課題といえる。

5 調査結果・議会に対するご意見・ご要望について

質問17. 議会に対して、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



今回(n=848) 前回(n=715)

年齢	今回		前回	
	男性	女性	男性	女性
①18・19歳	1	1		3
②20歳代	5	3	4	4
③30歳代	11	11	11	14
④40歳代	15	22	16	28
⑤50歳代	21	18	6	10
⑥60歳代	28	25	27	18
⑦70歳以上	30	33	28	24
小計	111	113	92	101
合計	224		193	

「自由記述意見」への記入は、有効回答848名中、26.4%にあたる224名からあった。回答率は、前回調査結果とほぼ同数となっている。

全体的に、議員に対する意見が多く散見される。また、町民と議員との対話の機会の増加や、議会情報を得られるような情報提供の工夫を求める声も見られる。

30歳代と40歳代からは、子育てに関する記述が散見される。

6 調査を終えて ― 総括

議会・議員に関する「北島町民アンケート」の結果から読み取れることを総覧し、本報告を締めくくりたい。

質問3によれば、町民の2割半が議会に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を選択しているものの、議会傍聴の経験はわずか3.5%（質問4）にとどまっているのがわかる。「自由記述意見」では、議会や議員の活動内容がわからない、活動による成果がわからないといった意見が多く散見されることから、町民は議会・議員の活動状況を把握できておらず、身近に感じられていない現状がうかがえる。このような現状も、町民の議会・議員に対する関心が薄れている一因であると考えられる。

議員が町政に町民の声を反映しているか（質問6）では、7割近くの町民が「反映していない派」「わからない派」となっており、その理由（質問7）として、「町民との対話がない」が5割近くを占めている。議会や議員に期待する内容（質問8）について聞いたところ、町民の6割半が「町・町民の利益となるような政策提言」、4割以上が「町民生活で困っていることの相談相手」と回答している。これらを踏まえ、議会・議員と町民とで互いの意見や状況を理解するため、定期的な交流イベントの開催や目安箱の設置など、意見交換をする機会やきっかけをつくる必要があると考えられる。

また、【議会だより】【議会ホームページ】【議会動画配信】といった議会活動を伝えるメディアの認知（質問5）では、「見たことがない」「存在を知らない」という回答を合わせると46.7%と半数近くを占めている。そのため、特に「存在を知らない」とした回答者に対しては、周知してもらう手段が必要である。「自由記述意見」では、【議会だより】の掲載内容等についての意見が寄せられており、議会からの様々な手段を用いた積極的な情報発信にニーズがある。したがって、若年層～中年層に対するSNSによる情報発信やネット環境がない町民に配慮し、世代や生活環境に対応した伝え方にさらなる工夫を重ね、議会への興味・関心を喚起するとともに議会と町民のコミュニケーションが盛んになることで、町民のニーズに対応できると思われる。

新型コロナウイルスに関する質問について、感染症対策の情報提供（質問9）は、町民の7割以上が「十分でなかった」「どちらとも言えない」と回答しており、理由（質問10）を聞くと、「行政からのその都度の情報不足」が54.3%と最も多く見られた。地方創生臨時交付金事業について効果の有無（質問15）を聞くと、「効果があった」が「効果がなかった」を上回るものの、「どちらでもない」が過半数を占め最も多い。「自由記述意見」では、情報提供や対策の明確化、コロナに関する相談窓口の設置を求める意見が寄せられている。これを見ても、質問5でメディア非接触者が多く情報発信が不十分であることがうかがえる。

感染拡大による収入・支出の増減（質問 11）では、町民の 2 割が「世帯収入は減った」を選択しており、理由（質問 12）として、時短営業や給料の減額、失業などが挙げられている。感染拡大による支出が増加した項目（質問 13）では、「食費」と「生活雑貨」がそれぞれ 4 割を超え多く、「光熱費」が 3 割半で続いている。「世帯収入は減った」層では、特に「食費」での支出が多い。これは、コロナ禍でのリモートワーク・テレワーク、自粛生活によって自宅で過ごす時間が増加したことに加え、質問 12 における時短営業や失業の影響が表出していると考えられる。

個人事業者に対し、感染拡大による影響（質問 14）を聞いたところ、「売上が減少」が圧倒的に多く、「家賃の負担が大きい」「雇用の維持が難しい」との回答も一定数見られた。質問 11、12 における労働者の世帯収入減の理由と事業者との関係が顕著に見られる。

その他、台風・豪雨の時に、警戒レベル 4 が発信された場合、避難場所などを家族間で共有しているか（質問 16）について、共有していない派が 5 割半で、共有している派の 4 割を上回る結果となった。そのため、非常時への備えとして議会からも家族間での共有を促す必要がある。家族間での共有がなされない一因として、「自由記述意見」では、避難場所がわからないという意見が散見されており、防災情報に関しても情報発信の内容、頻度、手段を適切に行うことが望まれる。その他、防災に関して目立つ意見には、住民数や地理的要因を考慮した避難場所の見直し・確保、防災無線・町内放送の聞こえづらさが指摘されており、改善が要望されている。